

令和4年度 仙台市立宮城野中学校の教育目標等

(学校経営の方針)

それぞれの生徒が有する能力を伸ばし、社会において自立的に生きる基礎を育てることを第一に考え、生徒や地域の実態、社会情勢等に柔軟に即応しながら、多様な学びの提供に努める学校

1 教育目標

心身ともに健康で、豊かな人間性を培い、確かな学力を身に付け、たくましく生きる力を備えた生徒の育成

2 目指す生徒像

- (1) 相手を思いやり、自他の生命と心身を大切にしようとする生徒 (あたたかさ)
- (2) 節度と規律ある生活の中で、確かな学力を身につけようとする生徒 (きびしさ)
- (3) 夢や希望に向けて努力を続け、社会で自立していこうとする生徒 (たくましさ)

○9年間で育てたい児童生徒像 (小中連携)

「異なる個性を認め合い、なりたい自分に向かって努力し続け、社会や人のために役に立とうとする児童・生徒」

3 本年度、特に育てたい資質や能力 (短期的な目標)

- ・他者を理解して行動する力
- ・主体性を持って取り組む態度
- ・状況に応じて柔軟に判断する力

4 本年度の重点目標

- (1) 多様性を理解し、受け止める力の育成
- (2) 自ら課題を設置し、解決する力の育成
- (3) 自己有用感の醸成 (協働型学校評価目標)

5 主な実践概要

※令和4年度「杜の都の学校教育～推進の指針と指導の重点～」(仙台市教育委員会)に記載される内容を含め、以下の実践を中心に進める。

(1) 多様性を理解し、受け止める力の育成

①不登校生徒への支援体制の整備と充実

ア 不登校生徒及び保護者に対する教育相談、適応支援、学習支援の三機能の充実

- イ 「ステーション」の組織的な運用と関係機関や民間施設等との効果的な連携
- ウ 新規不登校生徒の未然防止に向けた取組
- エ 柔軟で機動的な不登校対策委員会の開催
- オ 不登校対策支援コーディネーターを核とした組織的な取組

②いじめ防止、生命・人権を大切にする教育の推進

- ア いじめ対策委員会等の校内体制の充実及びいじめの未然防止，早期発見・対応のための教育相談、定期アンケート調査の実施
- イ 人間関係づくりに向けた各種プログラムの実践（「たく生きプログラム」他）
- ウ 学級活動，生徒会活動，学校行事，学年行事等の充実
- エ 関係機関と連携した情報モラル教育の推進
- オ 「みとめあう心」の効果的な活用
- カ いじめ対策担当教諭を核とした組織的な取組

③教育相談体制の強化

- ア スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さわやか相談員等、専門の相談窓口の積極的な活用
- イ 教職員の観察眼と調整力・対応力の向上に向けた研修
- ウ 生徒指導委員会における確実な情報共有
- エ Q-Uテストの分析結果を踏まえた効果的な活用

④ 特別支援教育の充実

- ア インクルーシブ教育を目指した一人一人を大切にされた教育活動の推進
- イ 「個別の教育支援計画・指導計画」の作成と活用
- ウ 通常学級に在籍する配慮が必要な生徒への支援
- エ 特別支援教育コーディネーターを核とした組織的な取組

⑤道徳教育の推進

- ア 考え、議論する教科道徳の授業の実践
- イ 小集団による対話的な道徳活動の試験的实施（大学連携：P4C）
- ウ 道徳を要としたカリキュラムマネジメントの作成

（2）自ら課題を設置し、解決する力の育成

① 基礎的知識・技能の習得と応用力を育成する授業づくり

- ア 主体的で対話的な学びに向けた授業改善（学習指導要領の趣旨を踏まえた研究

授業の継続)

- イ 総合的な学習時間を活用した学年テーマに基づいた個人研究
- ウ 「聞く」・「伝える」力を育てる対話を用いた授業実践
- エ 少人数・TT指導を活用した個に応じた指導の工夫
- オ 学力調査等の結果分析・検証による学力向上策の検討
- カ 指導と評価の一体化の促進
- キ 応用力（思考力，判断力，表現力等）の育成を目指した指導方法の研究
- ク ICT等を活用した多様な学びの場の提供

②自分づくり教育の推進

- ア たく生きプランを活用した授業の実践
- イ 職場体験，ファイナンスパークの事前指導・実施・まとめ・発表等の工夫
- ウ 地域や社会資源（人材、教材）を活用した学習の推進
- エ 小中高連携による豊かな学びの推進

(3) 自己有用感の醸成

(協働型学校評価目標)

生活状況調査により「自分は人の役に立っている」と感じられる生徒の割合を70%以上にする。

①学校

- ア 校種間の円滑な接続を図る小中連携（「チーム宮城野原」）
- イ 地域ボランティア活動の積極的な参加（地域貢献、地域の一員の自覚）
- ウ 自助・共助による防災対応力の指導、地域貢献に向けた人材育成
- エ 少年消防隊の活動の推進、救急救命講習（生徒・教師）の計画的な実施
- オ 地域防災リーダーや関係機関との連携を踏まえ、顔の見える関係の構築

②家庭

- ア 子供の自己肯定感を高める日常的な関わり
- イ 活動に対する賞賛と励まし
- ウ 職業学習を介した親子の対話（体験談）

③地域

- ア 小中学生への積極的なあいさつ
- イ ボランティア活動へ参加した生徒への声かけ
- ウ 慈善活動を行った生徒への賞賛（社会を明るくする運動等）